

小規模企業景気動向調査

[平成30年6月期調査]

～小売業が好転も、回復の足取りが重い小規模企業景況～

2018年7月31日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…小売業が好転も、回復の足取りが重い小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)と売上額DIは不変、採算DIはわずかに悪化、資金繰りDIは小幅に悪化した。天候に恵まれ、また、夏の暑さが到来したことにより、小売業や一部サービス業が好転したのに加え、各地で公共工事の発注も始まり建設業も緩やかな回復傾向が見られた。一方、人手不足の慢性化や原材料高、加えて貿易問題や6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震の影響により、回復への足取りは重い。

<製造業> ◇…引き続き受注は好調も、国内外の要因により先行が不安な製造業…◇

製造業の業況DI、売上額DI、採算DIはわずかに悪化し、資金繰りDIは小幅に悪化した。機械・金属関連は引き続き受注は多い状況であり、特に電気自動車やロボット産業に関連した製造業では、全体的に増加傾向である。一方で、慢性化してきた人手不足、アメリカの保護主義や原油高、資源高を要因として繊維業や金属製品製造業を中心に、採算、資金繰りが悪化し、利益に結びついていない状況になっているとの声が聞かれた。

<建設業> ◇…エアコン工事や公共事業が好調も、資材高・人手不足の影が差す建設業…◇

建設業の業況DIは先月からほぼ不変であった。売上額DI、採算DI、資金繰りDIは小幅に悪化した。例年よりも一足早く到来した夏の暑さから、エアコンの設置等にかかる設備工事業が繁忙を極めている。公共工事も、発注が開始されたこともあり好調である。一方で、窓枠関連の建設業では、ビル用のアルミサッシの価格が昨年12月から高止まりしているため、仕入が滞り工期が遅れ、資金繰りが悪化している。また、足場関連の工事業では、設置にかかる職人不足で、工期が遅れているとのコメントが寄せられた。

<小売業> ◇…暑さの到来により回復したものの、コスト上昇の不安残る小売業…◇

小売業の業況DI、売上額DIは小幅に改善した。採算DIは先月とほぼ不変、資金繰りDIはわずかに改善した。地域によっては、梅雨入り後の雨量が少なく好天が続いたため、消費者の外出への意欲が旺盛なこともあり、売上が好転したとの報告や夏の暑さが到来したことから、エアコンの新規取付需要が発生し、耐久消費財の売上を押し上げたとのコメントがあった。一方、気温上昇が急激であったため、夏野菜の成長が間に合わず数量が確保できないため、価格高騰が和らいでいない事例や運送コスト上昇の影響を受けて仕入単価が増加している。

<サービス業> ◇…一部で回復が見られるも、コスト増により伸び悩むサービス業…◇

サービス業の業況DI、採算DI、資金繰りDIは先月と比べわずかに悪化した。売上額DIについては不変であった。6月は空梅雨な地域も多く、外出しやすい天候に恵まれたことから宿泊業を初めとし、サービス業の売上が回復してきている地域がある一方で、ドライクリーニングに使用する溶剤、運送にかかるガソリン代など原油高の影響が徐々に出てきており、コスト上昇を転嫁できないとのコメントが寄せられた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 0.4	▲ 2.6	▲ 3.7	▲ 1.1	1.2	▲ 1.0	▲ 2.2
採算	▲ 14.2	▲ 15.3	▲ 1.1	▲ 11.1	▲ 12.7	▲ 1.6	▲ 8.2	▲ 10.3	▲ 2.1
資金繰り	▲ 9.1	▲ 11.3	▲ 2.2	▲ 6.2	▲ 9.9	▲ 3.7	▲ 4.1	▲ 8.9	▲ 4.8
業況	▲ 14.2	▲ 14.2	0.0	▲ 8.8	▲ 9.4	▲ 0.6	▲ 6.8	▲ 6.4	0.4

業種	小売業			サービス業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲ 25.2	▲ 23.2	2.0	▲ 13.3	▲ 13.6	▲ 0.3
採算	▲ 23.1	▲ 22.8	0.3	▲ 14.3	▲ 15.2	▲ 0.9
資金繰り	▲ 17.4	▲ 15.9	1.5	▲ 8.8	▲ 10.4	▲ 1.6
業況	▲ 26.5	▲ 24.5	2.0	▲ 14.9	▲ 16.4	▲ 1.5

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。